

2016年 市民講座

認知症を正しく理解する 市民講座

- 1 事業名称 平成28年度 「認知症を正しく理解しよう」市民講座
武村和夫先生の講義、「認知症サポーター養成講座」
- 2 主催者 特定非営利活動法人千葉市老人福祉施設協議会
- 3 開催日時 平成28年10月20日（木） 13時00分～16時
- 4 開催場所 中央区社会福祉協議会 大会議室(きぼーる 11F)

当日参加者 68名

今回が4回目となる市民講座は、受講者は熱心にメモをとるなど認知症への関心の高さをより深く感じる内容でした。地域で認知症予防などの活動に取り組んでおられるアクティブシニア層や年を重ね自立した生活を目指す人たち、サポーターとして応援者側の役割を希望される人たち、介護の質と認知症の人たちのQOLの向上をさらに目指す専門従事者等の姿もみられました。

成功の要因としては、千葉市をはじめ後援団体は医師会、社会福祉協議会、家族の会、老人クラブ連合会、認知症ケア専門士会、市グループホーム連絡会及び老施協傘下の利用者家族へ呼びかけ、千葉市包括ケア推進課からの広報はいうまでもありません。

いずれにせよ、認知症の人や家族が住み慣れた地域で暮らし続ける地域社会をみんなでつくる地域包括ケアシステムの実現にむけて、さらに、認知症を正しく理解しあい、サポーターの最低限の知識をより多くの市民のみなさまに伝授していくことが極めて重要と考えます。

課題としましては、今後は医療・福祉介護の連携と介護の在り方が施設から在宅と向かう中、ますます認知症の正しい理解を学ぶ市民講座の開催継続は大切な課題であると考えます。また、当日制度については傘下施設が協力しあい、当日の役割を明確にする必要があります。

地域包括ケアシステムの実現に向けて、老施協の役割を自覚しつつ、所管包括ケア推進課のご指導・ご助言をこれからもお願いしつつ、

なお、一層、所管や関係団体と共に千葉市の地域福祉の向上を目指し、とりわけ、認知症を抱えた家族や当事者たちがこれからも地域でその人らしく暮らし続けるために老施協が情報を発信し、地域のニーズを対応していく期待に込めていきたいと思っています。

以上、報告します。

文責：認知症対策委員会委員長 武村和夫

副委員長 砂長谷和子